

11月、12月は
HandinHand
募金キャンペーン期間

第43回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

■2021年のテーマ **すべての子どもの権利が実現される世界を
～できることから始めよう～**

すべての子どもは世界のどこに生まれても、健康に、生まれもった可能性を十分に伸ばして成長する権利があります。しかし、予防できる病気、紛争、貧困、自然災害、新型コロナウイルス感染症などにより、多くの子どもたちの権利が脅かされています。

ユニセフとともに、すべての子どもの権利を守り、健康で希望に満ちた未来のための支援活動にご協力ください。できることから始める第一歩として、ハンド・イン・ハンド募金へのご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。

■今年のハンド・イン・ハンドについて

今年は昨年に続き、新型コロナウイルス感染予防のために街頭募金はいたしません。他の方法でご協力ください。

■今年の参加方法について

まずは、知る・学ぶ。オンライン学習会や関連動画で世界の子どもたちの現状を知り、学び、子どもの権利について考えましょう。

次に、感じたこと、学んだこと、考えたことをSNSなどで広めてみましょう。

最後に、行動です。身近な場所で、またはオンラインでの募金を呼びかけてみませんか？

みなさんのご参加をお待ちしております。

■具体的な参加方法はこれから

<https://www.unicef.or.jp/cooperate/handinhand/>

日本ユニセフ協会ホームページ内「ユニセフハンド・イン・ハンド特設ページ」をご覧ください。



賛助会員募集

年1回、会費をいただき、岩手県ユニセフ協会の活動を継続して支えていただく賛助会員制度です。会員のみなさまには、ニュースやイベント案内をお届けしています。

一般会員 (個人ならどなたでも) **1口/5,000円**

学生会員 (18才以上の学生) **1口/2,000円**

団体会員 (団体・法人・企業) **1口/100,000円**

集めています！

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき
- ・外国コイン



※お持ちの方は、ご連絡ください。

これらも
募金になります

お申し込み・お問い合わせは、岩手県ユニセフ協会まで

ボランティア募集



世界の子どもたちを応援してください。

ユニセフでは…

- ・募金活動
- ・学校などへの出前講座
- ・学習会・パネル展示

などをボランティアのみなさんで行っています。
あなたもぜひ参加してみませんか？



TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
E-mail sn.iunicef_iwate@todock.coop

岩手県ユニセフ協会ニュース No.53

unicef

Iwate Association for UNICEF

2021年10月

【発行】

岩手県ユニセフ協会

〒020-0690
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.coop
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

紛争や自然災害などで子どもたちが 命の危機にさらされています。



人道危機緊急募金

アフガニスタン

今すぐ支援を必要とする1,000万人の子どもたち

アフガニスタン紛争 人口の約半数1,800万人が支援必要

アフガニスタンの子どもたちは、何十年にもわたり人道危機、また治安面や社会的、経済的な危機によって、苦しみを受けてきました。政権交代の混乱の中、1,000万人近くの子もたちが支援を必要としています。100万人の子どもたちが重度の急性栄養不良による命の危険があります。避難を余儀なくされた約60万人のうち、半数以上が子どもです。干ばつと水不足、生活資金の心配、冬の到来、そして新型コロナウイルス感染症など、子どもたちの状況は、さらに悪化する可能性があります。

また、女性と女の子の安全、基本的なサービスへのアクセス、女性の教師や保健員の職場復帰を引き続き強く求めています。ユニセフは長きにわたり、アフガニスタンの現場で、人道支援や開発支援、安全な飲料水や子どもと女性のための保健サービスを支援し続けてきました。重度の栄養不良の5歳未満児に栄養治療の提供もしています。アフガニスタンの子どもたちと、支える人々への支援が、これほど緊急に求められていることはありません。国際社会の支援が必要です。



緊急募金にご協力をお願いします。

《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

- ◆通信欄に「人道危機 K1030」か「自然災害 K1030」と明記をお願いします。
- ◆窓口での振り込みの場合、手数料免除されます。
- ◆岩手県ユニセフ協会にご連絡くだされば、振込用紙をお送りします。

自然災害緊急募金

ハイチでマグニチュード7.2の地震発生

新型コロナウイルス、ハリケーン、地震

いくつもの危険にさらされる子どもたち



ハイチ地震 人口の40%が支援必要

8月14日、ラテンアメリカ・カリブ海諸国のハイチ南西部でマグニチュード7.2の地震が発生。激しい地震の後、熱帯低気圧「グレース」がさらに襲い、病院も保健員もひっ迫しており、医療物資も十分ではありません。

家を失った子どもたちや家族は、雨の中、外で寝ることを余儀なくされています。医療・水・衛生用品の輸送が非常に重要です。

公式で発表されている死傷者数は増え続けています。8月18日時点では、少なくとも1,941人が死亡し、9,900人以上が負傷しています。11万5,000棟以上の家屋が損傷・損壊し、人口の約40%に当たる58万人近くが緊急支援を必要としています。

この2年間、政治的問題や治安の悪化、新型コロナウイルス感染症などで、子どもたちが何カ月も学校に行けない状況が続いていましたが、それに加えて今回の大惨事が起こりました。ハイチの子どもたちは、支援を必要としています。すべてを失った親や教師にも支援が必要です。そして、学校を再建または修復し、教室には机を、教師と生徒には教材や文房具が必要です。

ユニセフは、洪水や土砂崩れに妨げられながらも、医薬品、安全な水、衛生用品、防水シートなどの命を守る支援物資を被災地に急送しています。



ユニセフ募金への取り組み ありがとうございます！

岩手県ユニセフ協会設立20周年を記念して、さまざまな募金協力をいただいている10組のみなさまを、感謝を込めてご紹介します。

賛助会員として (団体・法人・企業) 年会費によってご支援いただく、登録会員4団体です。

株式会社 モリレイ 様

弊社がユニセフの賛助会員にさせていただいた経緯は、現社長が青年会議所在籍中に、国際協力活動に関わり、世界には大変多くの貧困にあえぐ子供達が存在するという事実を、深く認識した事からです。また、弊社が学校給食への食材供給を50年以上にわたり重要な事業のひとつとしてきた事も遠因となっております。会員となって20年、微力ながらも継続的にお役に立てている事大変うれしく思っております。



モリレイ様 新社屋

これまでのユニセフの、世界における献身的な活動に心からの敬意を表すると共に、これからもSDGsの中核的実践主体のひとつとして、世界の子供達の未来のために持続可能な活動展開をされる事を心よりご期待申し上げます。

株式会社 岩手日報社 様

岩手県ユニセフ協会は、初代会長の村田源一郎、次の三浦宏(ともに岩手日報社・当時)、そして私が3代会長として20周年の節目を迎えました。本来ですとユニセフの支援で生きる希望を見出した子供たちの未来と共に喜びたいところですが、地球規模の異常気象による大規模自然災害の多発、多数の難民をもたらす内戦、さらには新型コロナウイルスの世界的蔓延などで生死の境界線上をさまよう子供たちは激増傾向にあります。



岩手日報社 代表取締役社長・主筆 東根 千万億 様

こうした中、各国の非営利団体はじめ様々な団体が活動に乗り出し、活動資金などの寄付を募っております。緊急援助を求め大災害や政情不安がこも多くなりますと寄付する側は、限りあるお金をどの団体に贈るかで悩み、支援先を厳選せざるを得なくなる気がします。

ユニセフが知名度の高さ、実績に安住できる時代は去りました。これまでも増して誠実で多彩な啓発活動に取り組み、寄付金を託すにふさわしく信頼できる団体としての名誉ある地位を確立しなければなりません。こう決意して21年目に踏み出したいと思ひます。

岩手県生活協同組合連合会 様

岩手県生活協同組合連合会は、1966年の設立から55年になり、現在では県内のほとんどの生協(17生協)が加盟し、それぞれの生協の組合員数を合わせると49万人になります。世界のすべての子どもたちが元気で幸せて育って欲しいとの思いから、ユニセフ活動には積極的に取り組んできました。例えば、生協のお店や施設には募金箱を置いたり、宅配事業を通じて各家庭から募金に協力をいただけてきました。お年玉の一部を寄せてくれる募金もありました。現在は募金の回収方法は変化していますが、子どもたちへの思いは変わりません。岩手県ユニセフ協会や、その前身組織ができる前から30年以上にわたるユニセフ活動で、生協全体で集めた募金額は、分かっているだけで1億5千万円以上になります。これからも、世界の子どもたちのきびしい状況を伝えながら、ユニセフ活動に取り組んでいくつもりです。



株式会社 サンギフト 様

人から人への贈り物・・・そのお手伝いをさせていただいて、かれこれ40年余になりました。地域のみなさまの冠婚葬祭・出産・歳祝いなど、人生のさまざまなシーンにかかわる事業をしてまいりました。東日本大震災後からユニセフをはじめ、子どもたちの笑顔と明るい未来のための基金に寄付する活動を続けております。これからも「感謝の気持ち」と「謙虚な姿勢」、「思いやりの気持ち」を常に持ち、社会に貢献していきます。



サンギフト 代表取締役 千田 稔 様

企業・団体・学校・新聞記事のみをご紹介させていただきましたが、このほかにも20年間、多くのみなさまのご協力に支えられてきました。世界の子どもたちへのあたたかいご支援に心から感謝を申し上げます。



指定募金の取り組みとして

いわて生活協同組合 様 岩手県学校生活協同組合 様

指定募金は、募金する国と支援プロジェクトを指定する生協の取り組みで、全国の生協と一緒にいわて生活協同組合と岩手県学校生活協同組合が取り組んでいます。インド(4年)、ネパール(10年)に続き、東ティモール(7年目)を支援しています。栄養不良率が高い地域で、お母さんと赤ちゃんを対象に保健・栄養ケアを支援します。



© UNICEF_NYHQ2012-1512_James Alcock

継続した取り組みとして

岩手県立不來方高等学校音楽部 様

岩手県立不來方高校音楽部は、震災前から募金活動やチャリティコンサート出演をしています。今年3月には全国3位の賞金を全額ユニセフ募金して下さいました。



花巻友の会チャリティコンサート



不來方高校音楽部より募金贈呈

「私たちは、コンテストの目標を『地球を救おう～save the Earth～』とし、入賞賞金を募金することを夢みていたのです。それが叶って嬉しかったです。私たちの活動によって少しでも多くの方に幸せになってほしいと願っています。」

不來方高校生徒さんより

盛岡レオクラブ 様



盛岡レオクラブより募金贈呈



2021.3.9 岩手日報

盛岡レオクラブは、県ユニセフ協会設立当初から毎年、カレンダー募金の益金をユニセフに募金して下さいています。

高額寄付で岩手日報に掲載されました



2021.3.7 岩手日報

兼田 紀美子 様
「ロヒンギャ難民緊急募金」に1千万円



2021.5.28 岩手日報

道尻 恵子 様
「遺産寄付プログラム」に1千万円

岩手県ユニセフ協会 設立20周年記念 ユニセフ・シアター・シリーズ 「子どもたちの世界」より

『ラジオ・コバニ』上映会報告



2021年7月18日(日)「ラジオ・コバニ」上映会を開催しました。

岩手教育会館にて、75名が参加。開会までの時間、岩手県ユニセフ協会20周年記念「20周年のあゆみ」のDVDを流し、石橋百合子専務理事の主催者挨拶のあと上映。

3月に行なわれた「安田菜津紀さん講演会」でシリアのお話を聞き、今回はシリアを題材にした映画を鑑賞。この映画は、「イスラム国」(IS)からの支配を脱したシリア北部の街コバニを舞台に、大学生のディロバンが手作りのラジオ局を始め、人々に希望をもたらしていく姿を収めたドキュメンタリー。



来場者は、マスク着用・検温・消毒・距離を開けて着席。空席にはユニセフニュースの表紙を利用。ロビーでは、ユニセフのポスター、支援グッズの展示。

参加者の感想より

人の命の尊さって何だろうと思いました。子どもも戦争にかり出されて無条件で尊い命が奪われて。日本にいて今まで気づけなかったけど、世界に目を向けるととても残酷だなと思いました。戦争をしてはいけないと思いました。(学生)

ショッキングな映像はあったけれど、そのむごさを感じ取った後、そこで暮らす人たちの強さが強烈でした。死を目の前にしながらも、若い女性の強さというか動物的本能が伝わってきて生きていこうとする明るさをも伝わってきて、戦争への怒りで胸が苦しかったです。(60代)

シリアの人々の生活が身近に感じられてなおさら戦争の哀しさが強く感じられた。(50代)

シリアの状況を実際はどうなのか、リアルに考えた事がなかったので、死体処理や戦闘のシーンは恐ろしかったです。自分が今、これからどう生きていくか、世界のことも視野に入れて考えたいと思いました。(20代)

コバニの街が戦争によってすっかり破壊されてしまっていた。むごすぎる。このような街の人々が早く安心した暮らしができる事を願う。ラジオという電波を使って、音楽を聴いたりしてそのときだけでもホッとする気持ちになれるだろう。ささやかな楽しみでも大きな力になっていると思った。(60代)